

3. 関連経済指標の概況

(1) 業況判断

日本銀行「企業短期経済観測調査」(平成19年12月)

建設業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

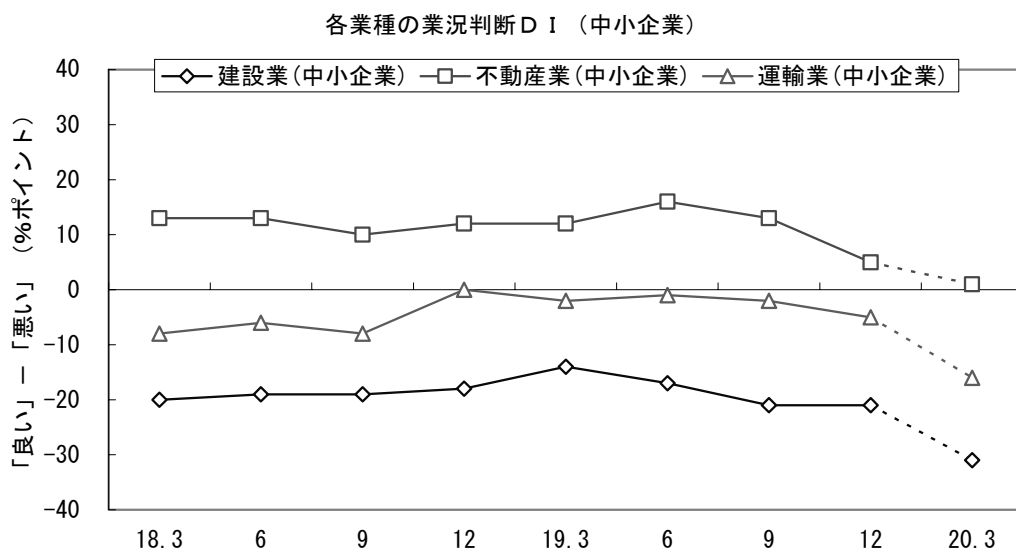
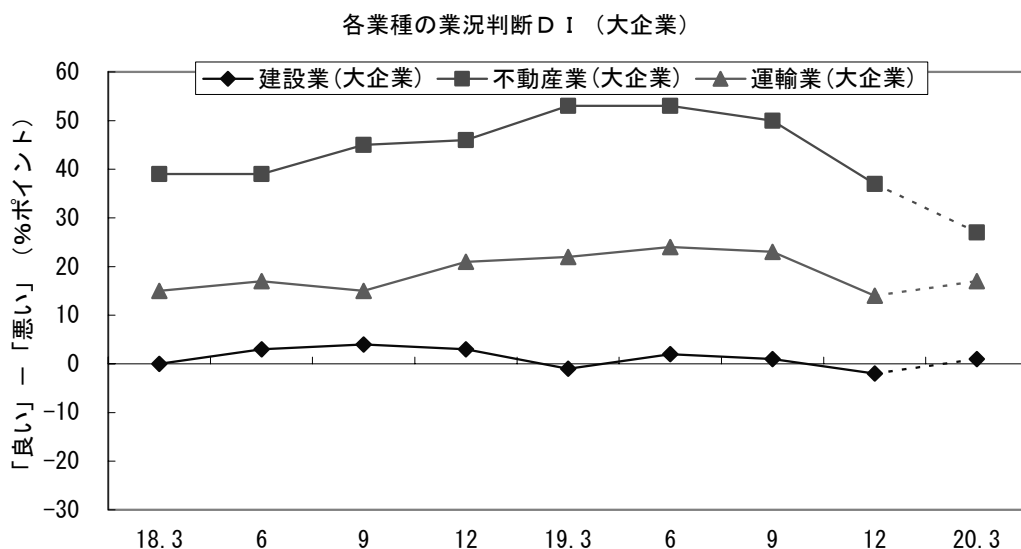
- 前回9月調査の「最近」は1、今回調査の「最近」は-2、「先行き」は1となった。
- 前回9月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると、3ポイント悪化しており、「先行き」は3ポイント改善となる見込み。

不動産業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

- 前回9月調査の「最近」は50、今回調査の「最近」は37、「先行き」は27となった。
- 前回9月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると、13ポイント悪化しており、「先行き」は10ポイント悪化となる見込み。

運輸業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

- 前回9月調査の「最近」は23、今回調査の「最近」は14、「先行き」は17となった。
- 前回9月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると、9ポイント悪化しており、「先行き」は3ポイント改善となる見込み。



資料：日本銀行「全国企業短期経済観測調査」
注) 点線は3ヶ月先までの予測値。

(2) 雇用情勢

① 就業者数等（10月調査）

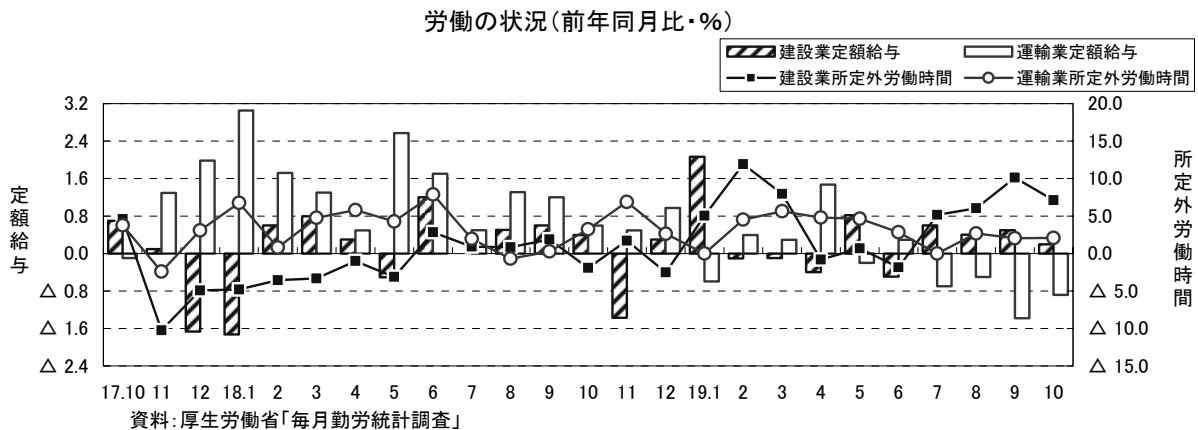
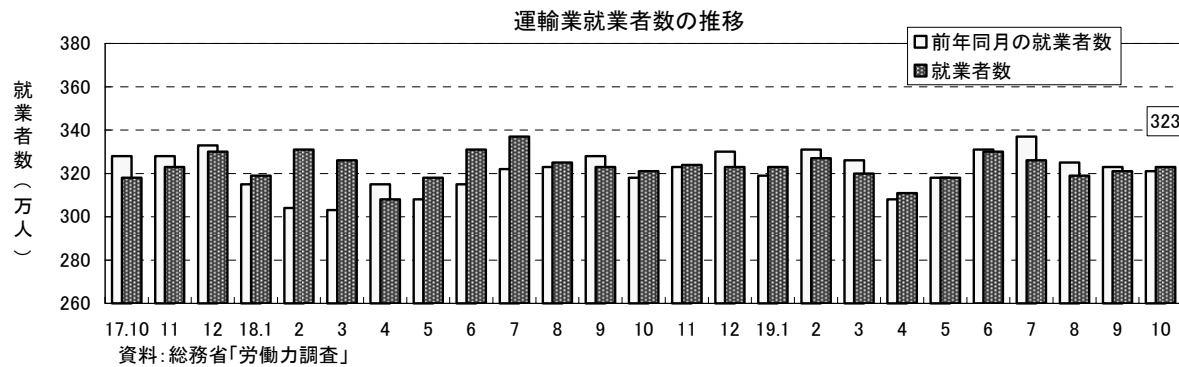
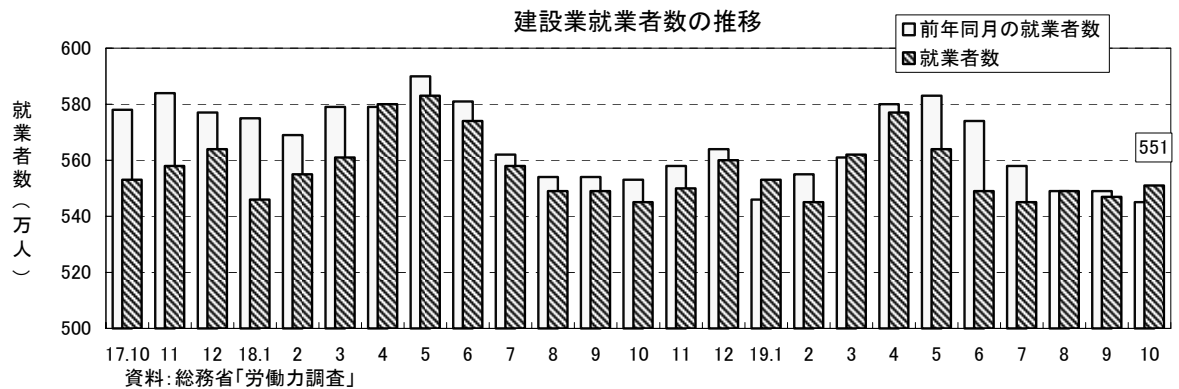
建設業就業者数は 551 万人で、前年同月比 1.1%増加（7ヶ月ぶり）であった。雇用者数は 449 万人で同 0.9%増加（3ヶ月連続）、うち常雇は同 2.0%増加（3ヶ月連続）、臨時雇は同 12.0%減少（3ヶ月連続）、日雇は同 4.3%減少（先月の増加から再び減少）となった。

運輸業就業者数は 323 万人で、前年同月比 0.6%増加（5ヶ月ぶり）、雇用者数は 308 万人で同 0.7%増加（5ヶ月ぶり）となった。

② 労働の状況（10月調査・確報）

建設業（常用労働者5人以上の事業所）の賃金指数（きまって支給する給与。以下同じ。）は前年同月比 0.2%増加（4ヶ月連続）、総実労働時間指数は同 0.6%増加（3ヶ月ぶり）、所定外労働時間指数は同 7.1%増加（4ヶ月連続）となった。

運輸業（常用労働者5人以上の事業所）の賃金指数は前年同月比 0.9%減少（4ヶ月連続）、総実労働時間指数は同 0.7%増加（先月の減少から再び増加）、所定外労働時間指数は同 2.1%増加（3ヶ月連続）となった。

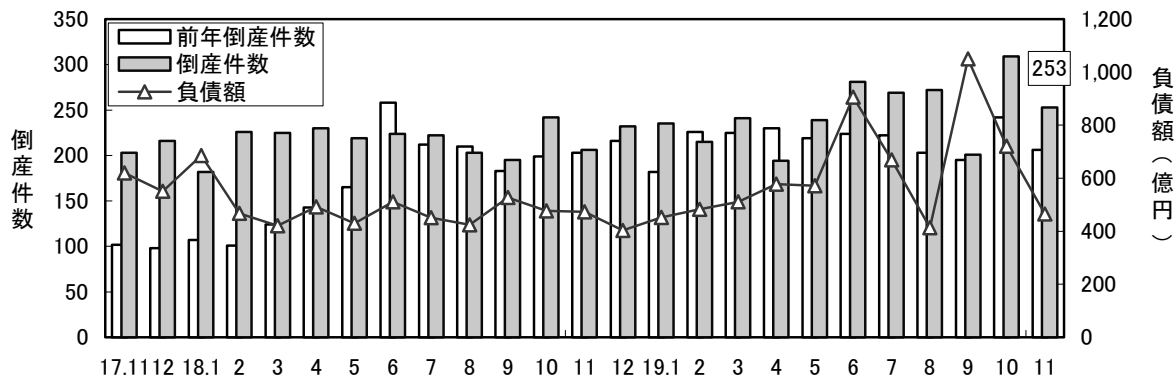


(3) 倒産

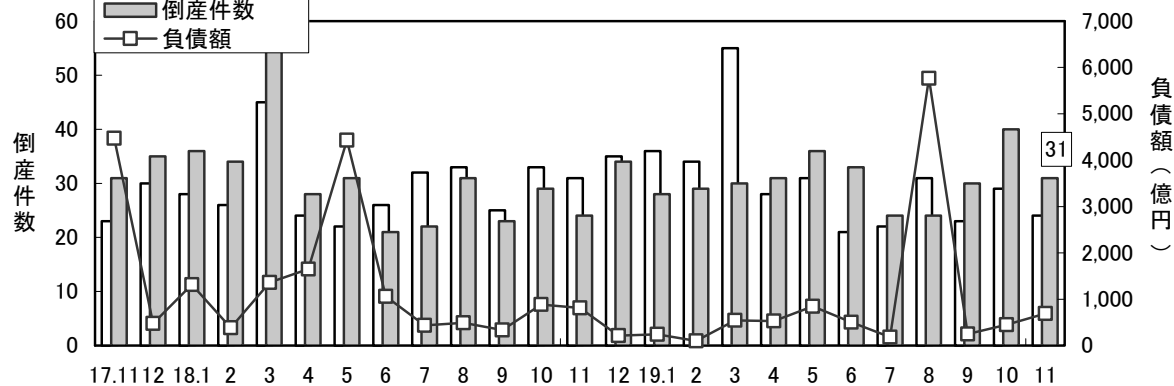
11月の全産業の倒産件数は906件で、前月比16.3%減少（前年同月比20.2%増）となった。

業種別にみると、建設業の倒産件数は253件、不動産業の倒産件数は31件、運輸業の倒産件数は23件であった。

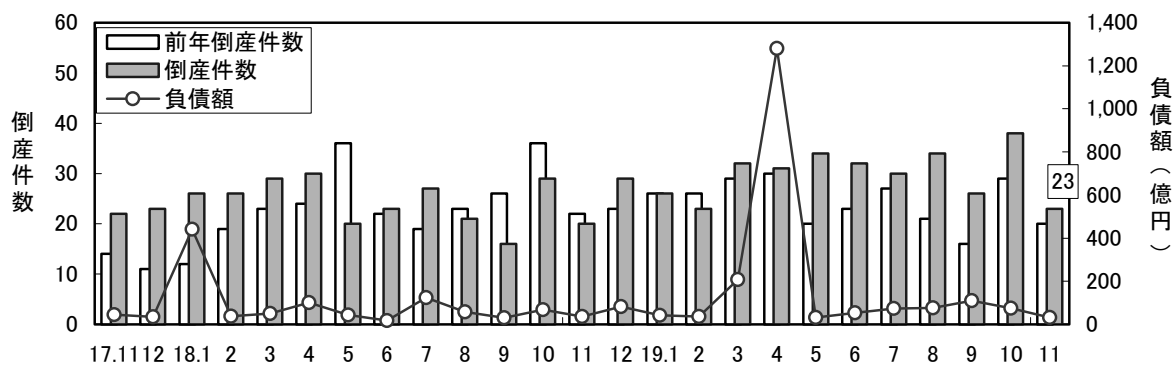
建設業倒産件数・負債額の推移



不動産業倒産件数・負債額の推移



運輸業倒産件数・負債額の推移



資料：帝国データバンク「全国企業倒産集計」

注) 平成17年4月のデータ以降、集計対象を変更したことで、前年同月との単純比較はできない。
平成17年3月以前のデータは参考値として掲載。

(4) 建設資材の市場動向

建設財の生産指数(10月確報、季調済)は74.8(平成12年=100)で前月比1.1%上昇(5ヶ月ぶり)、出荷指数は76.5で同0.7%上昇(6ヶ月ぶり)、在庫指数は84.7で同0.4%上昇(7ヶ月連続)となった。

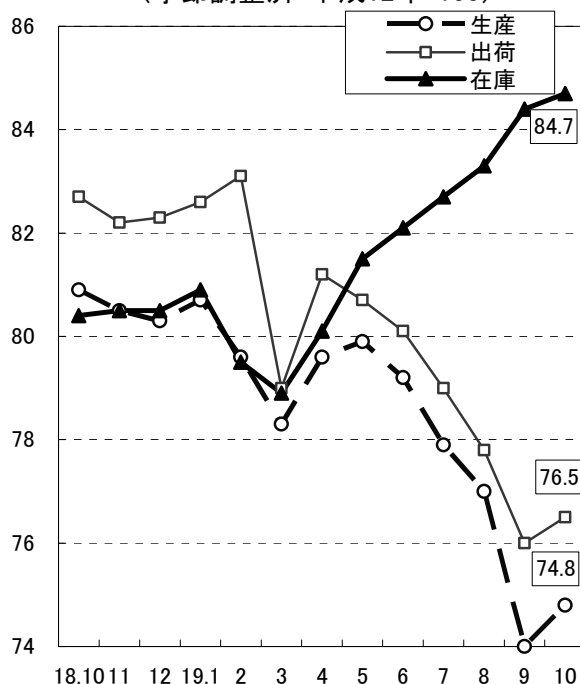
建設用材料(中間財)の企業物価指数(11月)は106.7(平成17年=100)で、前月より0.3%低下した。

建設財の生産・出荷・在庫
(季節調整済前月比・%、10月)

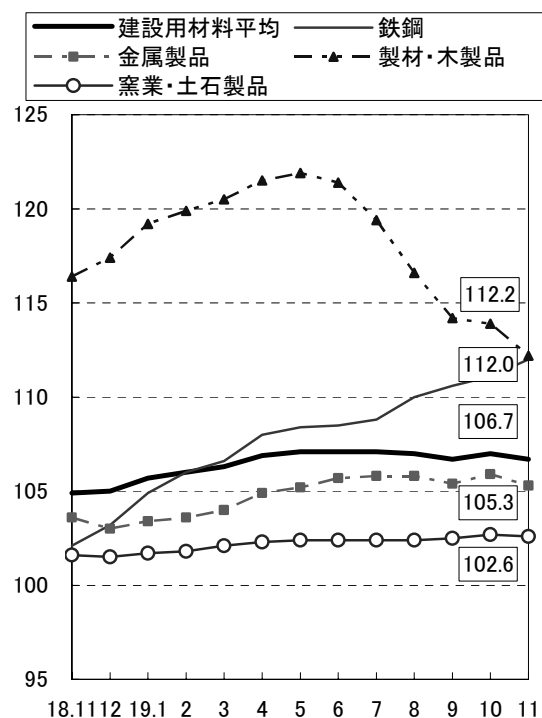
		生産	出荷	在庫
建設財		1.1	0.7	0.4
10月確報値	鉄鋼	△0.6	△6.2	0.7
	金属製品	2.8	1.0	0.3
	窯業・土石製品	△1.8	0.8	△1.5
	木材・木製品	1.2	△0.3	2.5
建設財(前年同月比)		△6.7	△6.2	5.3
(参考) 鉱工業		1.7	2.4	0.6
(参考) 鉱工業(前年同月比)		4.7	6.8	2.0

資料: 経済産業省「生産・出荷・在庫指数」

建設財の生産・出荷・在庫指数
(季節調整済・平成12年=100)

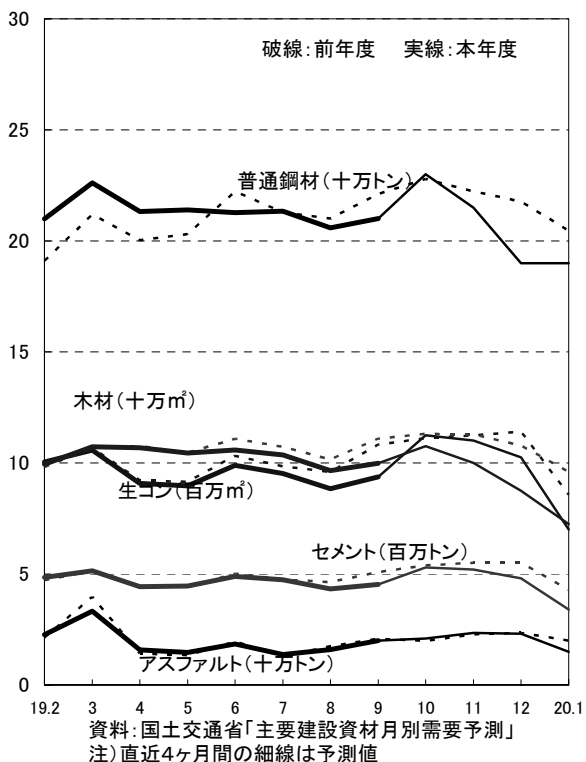


中間財 建設用材料 企業物価指数
(平成17年=100)



資料: 日本銀行「企業物価指数」

主要建設資材需要量の推移



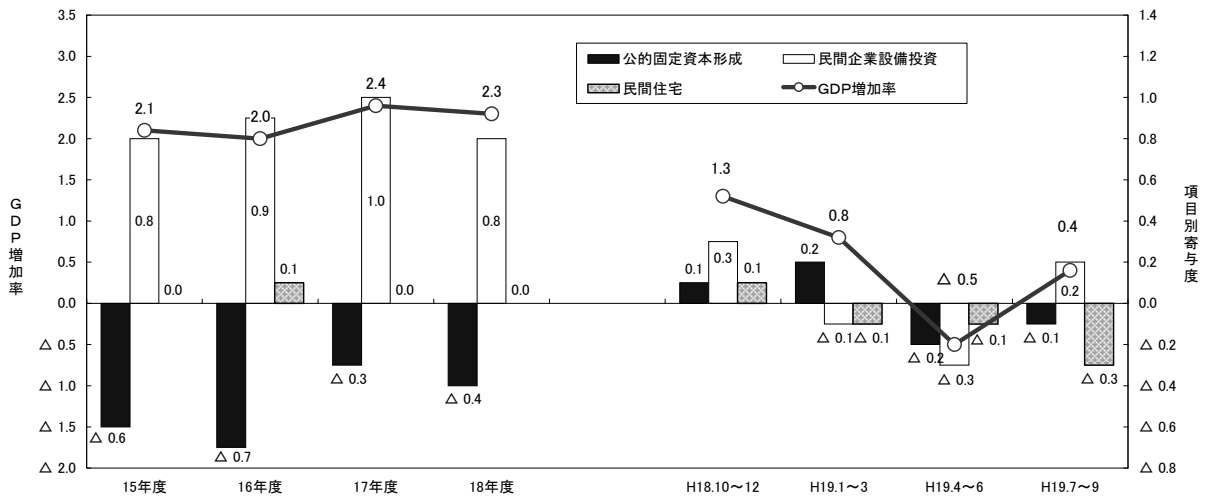
資料: 国土交通省「主要建設資材月別需要予測」
注) 直近4ヶ月間の細線は予測値

(5) 一般経済指標の概況

	実全 質国 消全 費世 支世 出帯	売全 国 額 (百 既貨 存店 販)	(機 船・電 力を除 く民需) 注	(資 本財 輸送 荷機 械) 数	生鉱 産 工 指 数業	(輸 通関 額 ペ ー ス) 出	(輸 通関 額 ペ ー ス) 入	物国 内 指企 数業	有 効 求 人 倍 率	完 全 失 業 率	(賃 ま っ て 支 給 す る 給 与) 指 数	企 業 倒 産 件 数	(マ ネ ー サ ブ ラ イ) イ	日 経 平 均 2 2 5 種	東 名 高 速 道 路 全 線 平 均 交 通 量 (大 型 十 特 大 車)
	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	(季) 前 期 比	(季) 前 期 比	(季) 前 期 比	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	(季・倍)	(季・%)	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	期 末 値 (円)	前 年 同 期 比
平成16年度	△ 0.2	△ 3.2	6.5	11.5	4.0	10.1	12.3	1.6	0.86	4.6	△ 0.4	△ 9.5	1.9	11,668	2.4
17	△ 1.0	0.3	5.6	3.8	1.6	10.6	20.1	1.7	0.98	4.3	0.5	48.8	1.8	17,059	3.9
18	△ 1.5	△ 0.8	2.0	5.7	4.8	13.4	13.7	2.1	1.06	4.1	△ 0.2	9.3	0.9	17,287	1.6
18年10～12月	△ 1.4	△ 1.6	0.3	0.5	2.2	11.2	10.8	1.9	1.07	4.0	△ 0.3	10.8	0.7	17,225	0.8
19年1～3月	0.4	△ 0.1	△ 0.7	△ 1.2	△ 1.3	12.5	6.6	1.4	1.05	4.0	△ 0.5	9.4	1.0	17,287	△ 0.3
19年4～6月	0.2	1.0	△ 2.4	2.1	0.2	13.7	9.9	1.7	1.06	3.8	△ 0.3	24.1	1.5	18,138	0.8
19年7～9月	1.3	△ 2.3	2.5	2.3	2.2	10.7	6.3	1.6	1.06	3.8	△ 0.1	22.8	1.9	16,785	△ 1.6
平成18年8月	△ 3.7	△ 0.8	2.9	△ 0.8	1.1	17.6	16.2	2.7	1.08	4.1	△ 0.3	2.7	0.4	16,140	6.0
9	△ 6.4	1.3	△ 3.9	△ 3.1	△ 0.5	15.2	16.9	2.7	1.08	4.2	0.0	△ 0.6	0.6	16,127	1.0
10	△ 2.2	△ 2.0	1.7	4.4	1.5	11.6	17.5	2.0	1.07	4.1	0.1	7.8	0.6	16,399	△ 10.9
11	△ 0.5	△ 0.3	0.0	△ 1.4	0.4	12.1	7.6	1.9	1.07	4.0	△ 0.5	6.5	0.7	16,274	5.9
12	△ 1.5	△ 2.2	0.9	△ 1.8	0.8	9.8	7.7	1.8	1.07	4.0	△ 0.5	18.2	0.7	17,225	7.1
平成19年1月	1.0	0.0	3.6	2.5	△ 2.3	19.0	10.3	1.5	1.06	4.0	△ 0.2	15.3	0.9	17,383	0.9
2	0.4	1.5	△ 4.9	0.7	0.7	9.7	10.2	1.2	1.05	4.0	△ 0.5	5.3	1.0	17,604	△ 1.3
3	0.0	△ 1.5	△ 4.5	△ 7.0	△ 0.3	10.3	0.2	1.4	1.03	4.0	△ 0.7	8.0	1.1	17,287	△ 0.3
4	0.8	△ 1.4	2.2	8.1	△ 0.2	8.2	3.5	1.8	1.05	3.8	△ 0.5	2.8	1.1	17,400	△ 0.5
5	0.1	△ 0.7	5.9	△ 0.8	△ 0.3	15.1	15.6	1.7	1.06	3.8	0.0	39.0	1.5	17,875	2.6
6	△ 0.3	5.1	△ 10.4	△ 1.6	1.3	16.2	10.8	1.8	1.07	3.7	△ 0.4	32.4	1.9	18,138	0.4
7	△ 0.2	△ 4.4	17.0	5.4	△ 0.4	11.8	17.1	1.9	1.07	3.6	0.0	22.7	2.0	17,248	△ 2.7
8	1.0	1.1	△ 7.7	1.3	3.5	14.5	5.8	1.5	1.06	3.8	0.0	27.3	1.8	16,569	0.2
9	2.9	△ 2.7	△ 7.6	△ 7.5	△ 1.4	6.5	△ 3.2	1.3	1.05	4.0	△ 0.3	17.7	1.7	16,785	△ 2.2
10	0.5	△ 1.6	12.7	5.3	1.7	13.8	P 8.6	2.0	1.02	4.0	△ 0.3	21.8	1.9	16,737	2.5
11								P 2.3				20.2	P 2.0	15,680	

注) Pは速報値(輸出及び輸入については、イタリック体は確報値、それ以外の数値は確定値)。企業倒産件数は、平成17年4月以降、集計対象変更のため参考値として掲載。
資料：総務省「家計調査」「労働力調査」、経済産業省「商業販売統計」「生産・出荷・在庫指数」、内閣府「機械受注統計」、財務省「貿易統計」、厚生労働省「職業安定業務統計」「毎月勤労統計調査」、日本銀行「企業物価指数」「マネーサプライ」、帝国データバンク「全国企業倒産集計」、日本経済新聞、中日本高速道路(株)

GDP増加率と寄与度(前期比、実質)



資料：内閣府「四半期別GDP速報」
注) 項目別の寄与度には、民間企業設備投資、民間住宅、公的固定資本形成のほかに、民間最終消費支出、民間在庫品増加、政府最終消費支出、公的在庫品増加、純輸出があり、これら全ての項目の合計が、GDPの増加率となる。